

ホクレングループの活動

115万ヘクタールの豊かな農地が広がり、冷涼な気候に恵まれた北海道は、

日本の食料基地としての役割を期待されています。

この大地で事業を行う「ホクレン」(ホクレン農業協同組合連合会)は、

北海道内のJAが出資し、JAの経営事業を担うことを目的としてつくりました。

事業内容は、農畜産物の集荷・加工・流通・販売を行い、

消費者の皆さまに安全・安心でおいしい食品を提供し、

生産者・JAの方々に農畜産物の生産に必要な資材・技術・情報を提供すること。

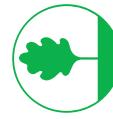
ホクレンは、これからも皆さまとともに日本の農業を担い続けます。

北海道農業の着実な生産振興を図り、消費者に安全・安心でおいしい

ホクレンの存立理念

北海道農業の着実な生産振興を図り、消費者に安全・安心でおいしい食品を提供することです。

ホクレンマークの意味



全体の円は太陽を表すとともに、協同組合の永遠のテーマといえる人の和を示しています。大地はまさに農業そのものであり、そこに根をおろす大樹は未来への躍進の象徴。

この樹は柏の葉をデザインし、実に強靭で緑の葉を絶やすことのない柏の樹は、未来への繁栄をも意味しています。また白い空間部分は、北海道の清澄な空気を表現しています。

イラストレーターの和田誠氏のデザインにより、昭和48年に制定されました。

人と人がつながって、今日が明日につながっている、北海道の農業。

ホクレンは「うみだす」「ささえる」「とどける」「ひろげる」、

そして「はぐくむ」、5つのアクションをグループで連携しながら展開し、

安全・安心なおいしさを守り続けていきます。

うみだす

農畜産物の新品种から加工食品まで
北海道から新しいおいしさをうみだすため、
研究や開発に取り組んでいます。

ささえる

生産者の方々をしっかりと支援。
北海道の農業を力強くささえ、
日本の食を守り続けていきます。

とどける

北海道の農畜産物や
加工品を全国の消費地へ、
そしてお客様の声を
生産の現場へとどけます。

ひろげる

北海道の安全・安心なおいしさを
もっともっと多くの方へ。
生産者の想いとともにひろげていきます。

うみだす

農畜産物の新品種・野菜を生かした加工食品、飼料に工夫のあるブランド肉など、
北海道では新しいおいしさが次々に誕生しています。
生産の現場をみつめながら、ホクレンは研究・開発、技術支援、販売促進など、
さまざまな活動に取り組んでいます。

「ジャガイモ」ではなく

品種名で呼んでほしい、
今や多様な馬鈴しょ。

おいしいさを求めるお客様の声、作業効率
を重視する生産者の声などから、品種開発
が進んだ農産物。その代表例のひとつは馬
鈴しょです。昔から広く知られる「男しゃく」
「メーフイン」に加え、病害虫に強く食感がな
めらかな「きたかわむ」、ポテチップス用の
焦げにくい「きたひめ」、ポテサラダに向く
「ひかる」など、機能性に富んだ品種が普及
しました。「一年中、北海道産の馬鈴しょを流



通させたい」と願い、CA貯蔵技術の研究に
も取り組んでいます。CA貯蔵とは、青果物
の呼吸活動を最小限にし、鮮度を保つ方法
で、馬鈴しょに活用してみると、鮮度が維持
できるだけではなく、糖度が増すことが判明。
結果、新じゃがとは違う魅力をもつ「よくな
いも」が誕生しました。今後は貯蔵技術を
ほかの農作物にも応用し、付加価値のある
商品の開発に取り組んでいきます。

